

20082

カテ室における医療安全への取り組み「Final check」を始めました

はじめに カテーテル検査および治療においては様々な合併症のリスクが存在する。当院では週に1回行われるカテ室ミーティングにて多職種と共に合併症の振り返りを行い再発防止に勤めている。今回このカテ室ミーティングの話合いの中で各職種が責任をもって治療に向きあえるように、また治療終了時の最終確認を多職種で行うことで合併症の早期発見が出来るよう「Final check」を始めたので報告する。目的 カテーテル治療が安全に終了できる。方法 PCI、EVT の最終造影後に看護師と医師で「バイタルサイン」「胸部症状」、臨床工学技士と医師で「心電図」「ステントエッジ・解離」、放射線技師と医師で「ワイヤー穿孔」「側枝の閉塞」を口頭で確認し合い、その内容を看護記録に記載する。カテーテル治療開始時には「Time Out」、終了時には「Final Check」を必ず行う。結果1、\_医師と共に各職種がそれぞれ最終確認を行わなければならないことで緊張感を持って治療にあたる事が出来るようになった。2、\_複数の目で確認することで見落としのリスクが減少3、\_記録に残すことで患者の状態を振り返ることができるようになった。4、\_緊急 PCI 後に生じた側枝閉塞を Final Check で発見し追加治療につながった事例を経験した。結語 PCI 後に多職種で行う「Final Check」は合併症の早期発見および適切な対処につながっている。